
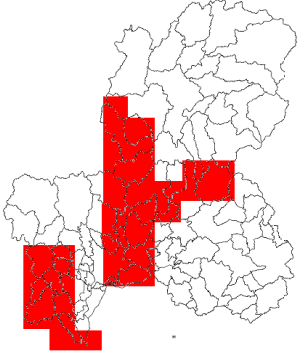


マツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i> (DC.) Danser	準絶滅危惧
		ヤドリギ科
選定理由	マツ枯れ病による生育条件の悪化や低山地開発により個体数が激減している。	<p>写真(古田之子)</p> 
形態の特徴	常緑針葉樹上に寄生する常緑低木で高さは20～50cm。葉は1.5～4cmの倒披針型。夏、枝の腋に赤色の花を集散花序に付け、果実は赤熟する。	
生態的特徴	山地のアカマツ、モミ、ツガなど、常緑針葉樹上に寄生する。	
分布状況	本州の関東地方、富山県以西に分布する。岐阜県においては飛騨地方および美濃地方の中部と西部にみられる。	
減少要因	マツ枯れ病、植林による伐採、山地の開発などによる。	
保全対策	山地開発に際しては、生育地の保全をはかる。	
特記事項		
参考文献	平凡社:日本の野生植物	